

平成22年度、京都市役所人事委員会事務局では、市民サービス向上に向けて、すべての所属等で職員一丸となり、以下の“きょうかん”目標を掲げて取り組んでいきます。

### 【人事委員会事務局】

所属等名	“きょうかん”目標	取組結果の確認
		取組の成果や今後の課題等について
任用課	<p>受験者の利便性向上のため、広報・手続などについてさらなる業務改善を行うとともに、受験者が安心して試験に臨めるよう、受験しやすい環境を整備します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用試験のインターネット申込みにおいて、昨年度は受験希望者のパソコンの機種によっては環境設定ができず、郵送で申込みをしていただいた事例がありましたが、システムを改善した結果、今年度はスムーズに申込みをしていただけるようになりました。インターネット申込みの割合も増加しました。</li> <li>・受験者がスムーズに試験会場に到着できるよう、1次試験日に市バスの増発を行いました。試験会場内においては、受験者が目的の教室を見つけやすいように案内表示を掲示するとともに、誘導係の職員を配置して対応しました。</li> <li>・採用試験ガイダンスでは、今年度も市長が挨拶し、京都市をアピールしました。春と秋に実施している大学等でのガイダンスでは、実施時期によって説明内容を変えるなど、来場者の方のニーズに沿うように工夫しました。</li> </ul>
調査課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等を通して所属職員の専門的能力の向上に努めるとともに、課内のコミュニケーションの活性化と情報の共有を図り、もって業務遂行の更なる効率化と充実に努めます。</li> <li>・本市職員の勤務条件や人事行政に関する調査研究の所管課として、所属職員の年次休暇の取得促進と時間外勤務の縮減に努めるとともに、すべての職員が生き生きと職務に精励できる方策の研究を進め、もって本市職員による市民サービスの向上に資するよう努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の改善や業務分担の工夫によって職員間のコミュニケーションの活性化が図られたことなどにより、全ての業務に課全体で取り組むことができるようになりました。</li> <li>・その結果として、総時間外勤務時間数も昨年度比で1割以上削減することができ、効率的な業務遂行について職員間で意識の共有を図ることができました。</li> </ul>